

聖なるモノと俗なるモノー西洋中近世における聖性付与の諸相

人文社会系研究科（美術史学） 秋山 聡

ー博物館・美術館の源流としての宝物館（Heiltumskammer, Schatzkammer）

- ー教会付属宝物館
- ー教会宝物とは

ー聖遺物とは

- ー教会の「ご本尊」としての聖遺物
- ー聖遺物である証

本来は、奇跡、不朽、芳香、発光等。実際には、造形による説明や「荘厳」を要した。

ー聖遺物と造形イメージの相関性

- ー様々な聖遺物容器
- ー絵画や彫刻も、存在する聖遺物と呼応

ー聖性の転変

- ー俗なるモノ → 聖なるモノ
世俗的容器や世俗的奢侈品等→聖遺物容器。既製品の転用（スポリア）。
- ー聖なるモノ → 俗なるモノ
→聖遺物ないし聖遺物容器の非神聖化：ex.ルター所有の聖エリーザベトのグラス

ー聖遺物容器の「転身」

- ーあるものはなお聖なるモノとしてなお儀式でも利用
- ーあるものは芸術作品としてヴンダーカンマーやクンストカンマーを経て美術館へ
- ーバーゼル大聖堂宝物の散逸